

# 「平成31年度 全国学力・学習状況調査」 結果から今後に向けて

陵雲小・末広北小・広陵中  
小中連携推進委員会 学習指導部会

## 家庭学習の習慣化・意欲化

「家庭学習のめやす」を活用し、家庭学習の取組が意欲的に、習慣化できるようになることが大切です。「eライブラリ」を活用させたり、時には宿題を出したりすることで学校外での学習時間を確保させます。また、電子メディアの時間を家庭学習や読書の時間にスライドできるように働きかけることも大切です。

### 家庭でのコミュニケーションを高める

家族と学校での出来事や将来について話題にしながら、たくさん話をするように勧めることも必要です。子供達の自己肯定感を高めるため、家庭への協力を求めることが重要です。

## 条件に合わせた作文づくり

「～字以内で」「○○という語を使って」「理由・根拠を明らかにして」書く、などの条件に合わせて書く場面を各教科で設定しましょう。

### 読書の時間を確保する

家庭で読書をする答えた子供の多くが家庭学習の習慣が身に付いているという調査結果があります。読書の時間をしっかりと確保し、家庭でも読書の習慣を付けることを勧めましょう。

### 根拠を示しながら自分の考えを伝える

既習事項を活用して、グラフを読み取ったり、式を立てたりしたものを、説明する場面を増やしましょう。算数・数学科だけでなく、各教科が横断的に取り組めるように連携を図りましょう。

## 三校の児童・生徒の傾向（概要）

### ◆学習習慣・生活習慣

☆読書への興味が高い。

→家庭で読書へ充てる時間は、少ない。

☆電子メディアを利用する子供は、学年が上がることに増加する傾向がある。

→学校の授業以外の学習時間が少ない。

→家庭で学校での出来事などの会話が少ない。

### ◆国語

☆書こうとする事柄のまとまりや文と文との意味のつながりを考えながら、文章を書くことができています。

→目的に応じて文章を読んだり、根拠を明らかにして書いたりすることが課題である。

☆漢字を正しく書くことができています。

→文脈に即して漢字を書くこと（同音・同訓異字）が課題である。

☆相手に自分の意図が伝わるように話すことができる。

→話し手の意図をとらえて、適切に自分の考えを話すことに課題がある。

### ◆算数・数学

☆基本的な計算は、できている。

→示された式の解き方や考え方を説明することが課題である。

→グラフから必要な情報を読み取ることが課題である。

☆図形に関する基本的な知識がある。

→与えられている図形の条件に、新たな条件を付け加え、特定の図形になることの説明をすることに課題がある。